

2023年3月25日（土）

一般社団法人日本肝胆膵オンコロジーネットワーク
(JON-HBP)

会員総会

議 題

1. 役員人事と定款改訂 (資料1)
2. 2022年度収支決算報告 (資料2)
3. 基金取扱について (資料3)
4. 2022年事業報告 (資料4)
5. 旅費規程 (資料5)
6. データマネジメント業務委託費用 (資料6)
7. 収支決算報告書の情報公開について (資料7)
8. 資料及び情報等の保管に関する手順書 (資料8)
9. 2023年度事業・予算計画 (資料9, 10)
10. 事務局報告
11. 各委員会報告

役員人事と定款改訂について

資料1-1,2

理事役員名簿 社員（評議員）11名

代表理事・理事長（2022/3/26就任）	永野 浩昭	山口大学医学部
業務執行理事	工藤 正俊	近畿大学医学部
業務執行理事	海野 倫明	東北大学医学部
業務執行理事	奥坂 拓志	国立がん研究センター中央病院
理事・委員長	池田 公史	国立がん研究センター東病院
理事（2022/3/26就任）・委員長	井岡 達也	山口大学医学部
理事（2022/3/26就任）・委員長	波多野 悦朗	京都大学医学部
理事（2022/3/26就任）・委員長	森實 千種	国立がん研究センター中央病院
理事・事務局長・委員長	上野 誠	神奈川県立がんセンター
監事	石井 浩	千葉県がんセンター
監事	川口 明浩	川口明浩公認会計士事務所
顧問（2022/3/26就任）・委員長	古瀬 純司	神奈川県立がんセンター

理事・役員以外の社員（評議員）19名

尾阪 将人	がん研有明病院
仲地 耕平	栃木県立がんセンター
肱岡 範	国立がん研究センター中央病院
金井 雅史	京都大学医学部
寺島 健志	金沢大学医学部
小林 智	神奈川県立がんセンター
戸高 明子	静岡県立静岡がんセンター
今岡 大	国立がん研究センター東病院
岡野 尚弘	杏林大学医学部
江口 英利	大阪大学大学院医学系研究科
川本 泰之	北海道大学医学部
柳本 泰明	神戸大学医学部
清水 怜	埼玉県立がんセンター
中川 圭	東北大学医学部
上嶋 一臣	近畿大学医学部
小笠原 定久	千葉大学医学部
水野 伸匡	愛知県がんセンター
奥山 浩之	香川大学医学部
大場 彬博	国立がん研究センター中央病院

理事の任期について

定款規定

(役員及び会計監査人の任期)

第33条 **理事の任期は、選任後2年以内**に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

• 設立から就任理事

「選任」 = 法人成立の日 = 令和3年1月26日

「2年」 = 令和5年1月26日

「2年以内に終了する事業年度のうち最終のもの」 = 令和4年12月31日

「に関する定時社員総会の終結の時」 = 令和5年3月25日(土)総会が終結し任期満了退任又は重任

- ・ 現在、2021/1/26-2022/12/31の委嘱状
 - ・ 今後、2023/3/25(土)社員総会で再任を決議
→その後、委嘱状 (2023/1/1-3/24と2023/3/25-2024年度決算に係る定時社員総会終結の時まで) を作成。
- 代表理事は、理事と一緒に委嘱となるので、理事の委嘱と同様に進める

• 令和4年3月26日に社員総会で選任された理事 (井岡理事、波多野理事、森實理事)

「選任」 = 社員総会日 = 令和4年3月26日

「2年」 = 令和6年3月26日

「2年以内に終了する事業年度のうち最終のもの」 = 令和5年12月31日

「に関する定時社員総会の終結の時」 = 令和6年3月末日までに開催される定時総会の終結時に任期満了退任又は重任

- ・ **理事が二つに分かれるのは事務処理など大変なので、定款に上記2.を追加し、任期と委嘱をそろえたい**
- ・ 委嘱状は、2021/1/26-2022/12/31としてお渡ししている。上記と同様に委嘱状を作成。

定款規定

(役員及び会計監査人の任期)

第33条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 増員により選任された理事の任期は、在任理事の任期の残存期間と同一とする。
を追加

監事、顧問任期について

- 監事

定款規定

(役員及び会計監査人の任期)

第33条

3 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 理事と同様の選任で任期は4年

「選任」 = 法人成立の日 = 令和3年1月26日

- 「4年」 = 令和7年1月26日
- 「4年以内に終了する事業年度のうち最終のもの」 = 令和6年12月31日
- 「に関する定時社員総会の終結の時」 = 令和7年3月25日（土）総会が終結し任期満了退任又は重任
- 現在、2021/1/26-2022/12/31の委嘱状
- 理事と合わせて委嘱状を発行。

- 顧問

(名誉理事及び顧問)

第36条 この法人に、名誉理事及び顧問若干名を置くことができる。

2 名誉理事及び顧問は、学識経験者の中から、理事会において任期を定めた上で選任する。

理事の任期と合わせて委嘱。

社員（評議員）任期について

定款規定

（入社）

第5条 この法人の目的に賛同し、入社した者を社員とする。

2 社員となるには、この法人所定の様式による申込みを行い、理事長が推薦した上で、理事会において審査を行い、理事会の承認を得るものとする。

3 入社の申し込みをする者は、個人正会員又は団体正会員に所属する個人に限る。

（退社）

第7条 社員は、いつでも退社することができる。ただし、1か月以上前にこの法人に対して予告をするものとする。

人数、任期の規定なし

- ・理事の任期と合わせて委嘱（2023/1/1-2024年度決算に係る定時社員総会終結の時まで）

2025/3/22、29（土）頃

委員会名簿

委員会	委員長	委員
財務委員会 (2022/10月就任)	古瀬 純司	池田公史、井岡達也、森實千種、上野 誠、金井雅史、肱岡 範、小笠原定久
臨床試験委員会	上野 誠	池田公史、森實千種、寺島健志、仲地耕平、川本泰之、上嶋一臣、大場彬博
研究支援委員会	森實 千種	今岡 大、小林 智、柳本泰明、岡野尚弘、清水 怜、奥山浩之、柴 知史*
組織委員会	井岡 達也	江口英利、尾阪将人、小林 智、肱岡 範、水野伸匡、中川 圭
利益相反委員会	波多野 悦朗	戸高明子、井口東郎*、大川伸一*、豊田泰士*
国際委員会 (2022/10月就任)	池田 公史	井岡達也、上野 誠、尾阪将人、大場彬博、古瀬純司

定款施行細則（委員会）

*外部委員

第9条 この法人に委員会をおく。委員の併任は、これを妨げない。

2 委員長は、当該委員会の会務を統轄する。委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

各委員長・委員任期：2022/12/31まで委嘱済み、今年年度分2023/1/1-2024/12/31（早々に委嘱状送付）

事務局

中丸 真由美	日本肝胆膵オンコロジーネットワーク/ 神奈川県立がんセンター	JON-HBP職員
安田 加代子	杏林大学医学部	腫瘍内科学教室秘書
赤坂 麻里子	神奈川県立がんセンター	消化器内科肝胆膵秘書
宇津木 佳澄	神奈川県立がんセンター	消化器内科肝胆膵秘書

2022年度収支決算報告

資料2-1,2,3

基金返還について

- 基金取扱規程の確認と承認
- 本基金取扱規程に則り、基金を返還する。
- 基金返還後は、純資産から返還をする基金に相当する金額を代替基金として計上する。

事務局報告

会員状況（2023年3月1日現在）

- 施設会員：75施設 登録研究者 861名
- 2022年新規参加施設12施設承認：
- 2022年9月理事会以後、5施設承認：
- 自治医科大学、倉敷中央病院、東京医科歯科大学病院、横浜市立市民総合医療センター、名古屋大学
- 個人会員 2名
- 賛助会員 22社（A 4社、B 10社、C 8社）
2021年20社(A 5, B 9, C 6)

日本イーライリリー	A
アイロム	A
インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社	A
エーザイ	A

Delta-Fly Pharma	B
ノバルティス ファーマ	B
武田薬品工業	B
シミツク	B
小野薬品工業	B
日本セルヴィエ	B
大塚製薬	B
アストラゼネカ	B
中外製薬	B
ジェイファーマ	B
バイエル薬品	C
ヤクルト本社	C
EP総合	C
ファイザー	C
アツヴィ合同会社	C
大鵬薬品工業	C
カイオム・バイオサイエンス	C
日本ベーリンガーインゲルハイム	C

事務局事業報告

- ホームページの更新
 - 会員専用サイトに加え、研究者限定サイトを追加
 - プロトコール、ICFの公開を予定
- JONレター作成
 - 2022年10月、2023年1月号を発行
 - 次回は、総会報告として、2023年4月を予定。
- 施設会員の情報追加：確実な情報共有と事務局との連絡
 - 施設責任者に加え、内科系、外科系コーディネーターの設定
事務担当者を設定

財務委員会

2022年度財務委員会

日時：2023年3月2日（木）16:00-17:00、2023年3月4日（土）8:30-9:00
ZOOM開催

1. 2022年度事業報告
2. 2022年度会計報告
3. 監査結果報告
4. 2023年度事業計画
5. その他

監査結果報告

第2事業年度監事監査からの提案

- 第2事業年度の事業収益が大きく伸びた一方で、事業費や管理費の伸びが小さい。その結果、当期経常増減額の黒字が拡大し、税引前当期一般正味財産増減額が増加、法人税等の納税額も増加。
- 正味財産の増加をどのような事業等（セミナー委託経費、講師謝金、事務局人件費、外注委託費等）に活用するか？
 - ある程度の余剰金を作ることで、介入臨床試験などの研究費に充てる
 - 事務局、データ管理部門の強化拡充：積極的に進める
 - JON-HBPと企業、Y-NEXT、各施設との契約関連の業務の強化
 - 動画作成など、一般向け情報発信
- 非収益事業と収益事業に事業費と管理費を区分する際のルールの再検討
 - 原則として収益予算での按分を前提としつつも、収益予算が実績と大きく乖離する場合は、実績に基づく按分を採用する方向で、検討することとした。
 - 今後、収益事業（企業の研究費による試験）が増える見込みがある。会計税務顧問、監事と要相談。

臨床試験委員会

研究支援委員会

組織委員会

報告事項なし

利益相反委員会

2022年COI申告

特に問題なし

2023年6月頃、COI申告の予定

国際委員会

企画の候補

- 胆道癌前向き観察研究
- Incidental胆嚢癌に対する術前GC療法の第III相試験 (Emory university)

その他

- 施設会員とのWeb面談を計画
 - JON-HBPの目的、参加いただく意義、施設の状況などWebでざっくりばらんに面談する
 - 2022年新規参加施設、臨床試験への登録不良施設を対象
 - 参加者：古瀬、上野臨床試験委員長、森實研究支援委員長、井岡組織委員長、池田国際委員長、永野代表理事、他